

令和6年度

# 教科等研究会 活動報告集



- |             |                  |
|-------------|------------------|
| ①国語教育研究会    | ⑪ 特別活動研究会        |
| ②社会科教育研究会   | ⑫ 哲学研究会【休会】      |
| ③算数・数学教育研究会 | ⑬ 文化財研究会         |
| ④理科教育研究会    | ⑭ 書写書道研究会【休会】    |
| ⑤音楽教育研究会    | ⑮ 学校園研究会         |
| ⑥図工・美術教育研究会 | ⑯ 保健教育研究会        |
| ⑦体育教育研究会    | ⑰ カウンセリング研究会【休会】 |
| ⑧技術・家庭教育研究会 | ⑱ 情報教育研究会        |
| ⑨英語教育研究会    | ⑲ 総合・生活科教育研究会    |
| ⑩道徳教育研究会    | ⑳ 発達障がい支援教育研究会   |

公益社団法人東筑摩塩尻教育会

# 令和6年度 国語教育研究会活動反省

令和7年1月16日

## 1 本年度の活動について（内容など）

### ① 第1回 自主研修

期日：7月30日（水）

会場：広陵中学校

内容：文学研究科 堀井正子先生による講演会 テーマ：『金子みすゞ』

### ② 夏期研修会の開催・参加

期日：8月1日（木）

会場：大町市大町中学校小学校（大北支部）

内容：レポート協議及び講演会

講師：藤澤 るり 先生（明治大学・東京大学講師 文学博士）

### ③ 長野県国語研究協議会への参加

期日：11月8日（金）

会場：佐久平交流センター 佐久市立岩村田小学校・佐久市立野沢中学校

内容：研究授業、授業研究会、分科会、講演会

講師：文教大学教授 藤森 裕治 先生

### ④ 松本支部との共催授業研究会の開催

期日：10月31日（木）

会場：松本市立梓川中学校

内容：研究授業、授業研究会、講演会

講師：信州大学教育学部准教授 八木雄一郎先生

### ⑤ 学会誌「信州国語教育」95号 会報85号の発行

## 2 来年度に向けて（本年度の成果と課題）

### （1）成果

- ・自主研修では文学研究家の堀井正子さんを講師にお招きし、金子みすゞさんの「詩の創作と生涯」をテーマに講演会を行った。堀井先生の文学作品に対する奥深い読み方から多くのことを学ぶことができた。
- ・10月には塩尻西部中学校を授業会場に松本支部と共催で授業研究会を行った。二年生の「君は『最後の晩餐を知っているか』」の単元で、目的意識の設定や、探究を深めるための手立てについて授業を行った。その後の八木先生の講演では、「何のための国語力？～『語彙力』をめぐる～」をテーマに、語彙（言葉による選択肢）が豊かであることの有効性についてお話いただきました。「語彙」について国語科的に考え、教科書の言葉一つ一つが、数多ある中からあえてその言葉を使っている理由について考える視点を分かりやすくお示しいただいた。明日からの授業改善につながる興味深いお話だった。

### （2）課題

- ・自主研修で行う内容については、今年度の内容も踏まえつつ、実技講習等の実践的な研修の場となるよう、多くの先生方が気軽に参加できるような内容を考えていきたい。
- ・昨年度に引き続き、「支部会員全員が県の会員」ということで進めた。来年度も是非多くの会員に県の会員になってもらえるようにして、研修の場を広げたい。
- ・小学校の先生方の会員が大変少ない。会員を増やす方策を検討する必要がある。
- ・教育会からいただいている補助金を有効に使って、会員に還元できるようにしたい。

# 令和6年度 社会科教育研究会活動反省

令和7年1月

事務局 中野 直輝 (塩尻西部中学校)

## 1 本年度の活動について

### (1) 「自主研修の日」実施内容

- 7月27日(木) 塩筑教育会「自主研修の日」 裁判所に行こう！  
〔会場〕 長野地方裁判所松本支部  
〔内容〕 法廷見学 ・ 民事裁判の傍聴 ・ 裁判官のお話

### (2) その他研修

- 2月1日(土) 講演会  
〔講師〕 信州大学 特任教授 小山茂喜 先生  
〔演題〕 「これからの社会科教師に求められること」

### (3) 研究活動

令和6年度研究テーマ (信州社研・塩筑支部)

『ひと・もの・こと』と関わりながら、豊かな見方・考え方が育つ社会科学習のあり方  
～社会事象の意味を「自分事」として追究する生徒の育成を目指して～

〔信州社研更埴大会のための実証授業〕

- 9月9日(月) 塩尻市立広陵中学校 百瀬 濤 教諭 (中学2年)  
単元名 「江戸時代が約260年もの間続いたのはなぜだろう？～江戸時代の強さの源を探る～」
- 10月11日(金) 塩尻市立洗馬小学校 荒井 千尋 教諭 (小学6年)  
単元名 「戦国の世から天下統一へ」

## 2 来年度へ向けて

### (1) 成果

- 支部としては、「自分事にする」ための学びが育まれる日常の授業の在り方について研究をしてきた。特に中学校の学びでは、身近な事柄についての学びが少ない。中学校での検証授業では、地域資料を発掘していくことで、生徒が身近に感じ、追究が進むことが分かった。社会科の核でもある、資料の検討について、来年度も研究を重ね、それを共有していき、先生方にも興味をもっていただくことも大切であると考えている。
- オンラインによる総会や研究会の運営は、会員の負担を軽減するだけでなく参加しやすいという点でも有効であると思われる。このような形での研究であれば、少人数の支部や、敷居を高く感じている若手の先生方にも入っていただきやすく、かつ授業力や子どもをみる力を一緒に高められる社研になるのではないかと思う。

### (2) 課題

- 未だに全会員で顔を合わせるに至っておらず、研究会への参加者も少ない。令和7年度は塩筑支部での全県研究大会があるため、研究の質を高め、安定した大会運営を行う上でも、多くの参加が見込めるように広報活動および、魅力ある活動を行っていきたい。
- 信州社会科教育研究会(同好会)では、4ブロック化体制での活動を進めようとしているため、塩筑の地区だけでなく、木曾や松本、安曇野、大北地区との協力体制を深め、会員が自分のニーズに合った研究や自己研鑽が行えるようにしていきたい。

# 令和6年度 算数・数学教育研究会活動反省

事務局 塩尻市立丘中学校 宮川 幸浩

## 1 本年度の活動

### (1) 研究テーマ

「数学的に考える資質・能力を育む授業づくり」

数学的活動を充実させることで学びを深める／数学的な見方・考え方を働かせることで学びを深める

### (2) 各種の事業

#### ① 教育研究会総会 5月下旬 会員23名で発足

添付の規約・年間活動計画・会員名簿の配信をもって総会とした。

#### ② 授業研究会、研修会等

##### ア 中信ブロック大会（塩筑） 10月25日（月）

会場：塩尻市立塩尻西部中学校 参加者36名

##### イ 第72回長野県算数数学教育研究大会（長野大会） 11月8日（金） ※兼・関ブロ

会場：長野市立南部小学校 長野市立櫻ヶ丘中学校

##### ウ 松塩筑合同研修会（夏季） 7月26日（金） 塩筑開催

会場：塩尻市立丘中学校 参加者36名

※「自主研修の日」に松本支会の先生方をお呼びして合同開催

##### エ 松塩筑まとめの会（冬季） 2月15日（土） 松本開催

会場：松本市立芳川小学校

## 2 来年度に向けて

### (1) 成果

- ・大学教授や国立教育政策研究所の方の話は学ぶことが多く、指導要領の理解を深めたり、最先端の研究に触れたりできる貴重な学びの場となっている。
- ・中信ブロック大会の塩筑開催を通して、小中の教員が一緒になって授業づくりや教材研究を行うことができ、多くの学びを得た。授業者の桑原英治先生には改めて深く感謝している。
- ・会員の協力により、関東甲信静数学教育研究長野大会の運営に寄与することができた。

### (2) 課題

- ・同好会員が減少傾向にある。中学校数学科はもとより、小学校の先生方にも、気軽に入っていただきたい。会費の減額も、引き続き県本部に訴えていく。
- ・県の研修会（夏 信大松本キャンパス・冬 信大長野キャンパス）への参加者が少ない。お一人でも参加者が増えるよう、働きかけていきたい。交通費の補助は継続していく。
- ・「同好会に入って良かった」と感じられるような取り組みをしたい。中学校では、定期テストや総合テストの共有化を図るなど、負担軽減につながる活動を今後も考えていく。

## 1 本年度の主な活動内容

### （1）本部・事務局関係

#### ○ 総会

会議資料の送付およびオンラインでの参集で総会を行った。そこで令和5年度の事業報告、会計報告および令和6年度の事業計画、予算案が承認された。また、本年度の役員および各委員会の委員を選出し承認された。

### （2）授業研究委員会

来年度の信州理研塩筑大会に向けて、小学校部会と中学校部会に分かれ、共に「化学分野」での研究を進めた。小学校部会では、第6学年「水溶液の性質」の単元で、無色透明の水溶液（五種類）を見分けるために、既習事項をいかして自ら考えた実験を行い調べる授業実践について。中学校部会では、第3学年「化学変化と電池」の単元で、生徒たちがより強い電池をつくるにはどうしたらよいか考え、追究していく授業実践について。それぞれ教材研究を行った。

### （3）実験講習委員会

松本理研と共催で次の2講習会を計画した。

#### ①夏の理科実験研修会（松本理研と共催）

会場 松本市教育文化センター 講師 佐巻 健男 先生（元法政大学教授）

内容 水素の燃焼・爆発実験や、ダイヤモンドを燃やす実験をおこなった。また、金属の実物を用いて周期表を1人1枚制作した。

#### ②冬の理科実験講習会（松本理研と共催）

会場 塩尻市立広陵中学校 講師 辻本 昭彦 先生（法政大学准教授）

内容 2月開催のため未定

講習会では、児童生徒が興味関心をもつ実験など、授業に役立つ数多くの実験方法や教材教具を学び、有意義なものになった。また、講習会後に情報交換会をおこない、教材研究のノウハウを紹介したり、親睦を深めたりする機会となった。



### （4）研修委員会（自主研修運営）

7月30日（火）東筑摩塩尻教育会自主研修

会場 松本市教育文化センター 講師 一ノ瀬科学博物館長 他

内容

#### 1) 探究パック～浮世絵で科学～

教育文化センターオリジナル教材「探究パック～浮世絵で科学～」を用い

①浮世絵の技法である「毛割」について ②浮世絵作品の「筑摩県博覧会」について

③浮世絵の画材である「松本藍」について ④浮世絵の「真贋鑑定」について

それぞれについて科学的な視点で観察を行いながら探究学習を体験した。

#### 2) 星空プログラミング

「ステラドームスクール」を使って、プラネタリウム用の簡単な星空解説番組をプログラミング制作した。

#### 3) 最新教材に触れる

株式会社ナリカによる今が旬の最新教材の紹介。特に ICT や IoT を用いた教材について紹介していただいた。



## 2 来年度に向けて

### （1）成果

①自主研修には大勢の先生方が参加し、積極的な自己研鑽の機会となった。

### （2）課題

①会員数や実験講習会への参加人数の減少については大変危惧している。特に新規に参加してくださる先生の減少と、理科の若い先生の減少が目立つ。理科に限らないことだが、参加していただくことの良さを伝えながら、理科専門以外の先生にも積極的に参加してもらえるよう呼びかけていきたい。

②会員の先生方の声を聞きながら、より参加したくなる、そして実践に即役立つ研修・講習を積極的に計画していきたい。

## 令和6年度 音楽教育研究会活動報告

### 1 本年度の活動について 《研究会員数28名》

#### (1) 本年度の取り組み

○研究会発足会 5月18日総集会の日に行いました。

○教育会総集会での音楽発表 混声合唱「アイノカタチ」

作詞作曲：GReeeeN 合唱編曲：朝野由莉 出版社：ELEVATO

○自主研修の日

7月30日(火) 出席者31名

場所： 広丘小学校

講師： 菊岡まつ乃三味線スクールより

内容： 「三味線に親しもう」 ～三味線の歴史を知り、実際に体験してみる～



○まとめの会

2月に予定しています。

#### (2) 取り組みの成果

- ・今年も総集会で合唱発表でき、多くの先生方に参加していただけてよかった。混声合唱曲である「アイノカタチ」を1曲発表し、2曲目は会場の皆さんと「信濃の国」を合唱した。同じ日に発足会も行い、自主研修について会員の先生方から希望をお聞きしたりできた。
- ・自主研修は、専科ではなく担任の先生方も参加しやすいものを考え、三味線の体験を行った。三味線に初挑戦の先生がほとんどだったが、あっという間に基本をマスターされ、大変楽しい研修となった。また来年もやってほしいとの声上がるほど好評だった。

### 2 来年度に向けて

○来年度も総集会で音楽発表を行うようなので、会員以外の先生方にも声をかけながら継続させていきたい。みなさんに馴染みがあり、歌いやすい曲を選曲したい。

○自主研修では、会員の先生方の要望を取り入れた研修を行えるよう計画していきたい。

## 「図工・美術教育研究会」活動報告

### 1. 本年度の活動

①研究会発足

②7月29日 自主研修の日

- ・丘中学校美術室にて、切り子デザインシートと、メディウム版画の教材研究を行った。実際に教材を扱うことで教材の価値に気づき、制作や鑑賞を通して意見交流ができた。

③10月4日 長野県児童生徒美術展・今を生きる子どもの絵展審査会

- ・吉田小学校体育館にて、作品の鑑賞と審査会を行った。教科書題材を取り入れた新しい絵画表現の魅力や、成長段階に応じた指導法について共有できた。

④11月15日 第78回長野県美術教育大会（南信ブロック大会）への参加

- ※関東ブロック大会、巡回展準備が重なったため任意での参加

⑤11月15日 東筑摩塩尻児童生徒美術展（巡回展）

- ・東筑摩塩尻教育会館にて、作品の鑑賞と審査会を行った。自由に自己を発信する表現の大切さについて学ぶことができた。

⑥11月下旬～12月13日 教育会誌へのイラストカット協力

⑦研究会まとめの会

### 2. 来年度に向けて成果と課題

成果：昨年度の自主研修が好評だったため、今年も「扱ったことのない教材の紹介や技法体験」を行った。実際に体験することによる学びは多く、制作をしながら教材について語ったり、日々の授業実践と交えながら学校の様子や子供たちの姿、日々の悩みなどの情報交換をしたりできた。

児童・生徒の作品審査会では、他校の作品を鑑賞できることはもちろんだが、指導方法や制作の裏話など、その後の指導に生かせそうな話をたくさん聞くことができた。

課題：長野県美術教育研究大会と日程が重なってしまい、参加人数が少なかった。昨年は中信ブロックでの開催で、大会運営に人手が必要となり、たくさんの協力をいただいた。それにもかかわらず、今回のような事態となってしまう大変申し訳なかった。今後会員数の減少により、更に少人数で運営をすることが懸念される。できる限りあるため、開催を隔年にしたり、ブロック合同開催にしたりするなどの検討が必要である。

### 3. その他

今年度の研修会や審査会等、協力していただいた先生方のご尽力に、心より感謝申し上げます。これからも、先生方のご意見やご要望を受け、教育課題に向き合う実りある研究の場を共に築いていきたいと考えております。今後とも、よろしくお願いいたします。

# 令和6年度 体育研究会活動反省

## 1 本年度の活動について

会員数41名。研究部・研修部・事務局を組織し、会員はいずれかの部に所属して活動した。

### ー 各種研修会・研究会の開催と参加 ー

#### (1) 自主研修

「可動域を広げるストレッチ、体ほぐしの運動など」実技研修

期 日 7月30日(火) PM

会 場 広丘小学校体育館

27名参加

講 師 長野県体育センター専門主事

#### (2) 定例学習会

第1回「今年度の研究について・年間計画立案」 9月11日(水)

第2回「今年度の体育指導計画・体育指導の在り方について」 10月9日(水)

第3回「研究授業に向けて・授業づくり」 11月5日(火)

第4回「研究授業に向けて・授業づくり」 11月12日(火)

第5回「まとめ・今年度の実践授業の情報交換」 1月15日(水)

#### (3) 体育科公開授業・講演会

12月13日(金)

会 場 塩尻市立広丘小学校

単元名「めざせ！あそびのタツ人！」(多様な動きをつくる運動遊び：2年生)

授業者 上原 舞 教諭

講 師 岩田 靖 教授(信州大学教育学部)

#### (4) 公開授業参観・各種研究大会参加

①長野県学校体育研究会夏季 研修会 会場：大町市立大町中 7月30日(火)

②長野県学校体育研究大会北安曇大会 会場：白馬北小・大町中 11月1日(金)

#### (5) まとめの会

2月21日(金)

## 2 来年度に向けて

### (1) 成 果

- ・定例学習会では、公開授業に向けた授業づくりに多くの会員が関り、授業者の意図や願いを共有しながら運動遊び領域における理解を深めることができた。また、授業公開当日では、学習会で議論された視点について児童の具体の姿から学び合うことができた。
- ・体育学習と学級経営には互恵的なつながりがあり、そこから生まれる相乗効果によって、主体的に学びに向かう力が深まることが示唆された。今後の研究の視点として大切にしたい。
- ・自主研修では、会員だけでなく一般の方にも関心の高い内容を取り上げることができ、多くの参加者を募って有意義な活動を行うことができた。

### (2) 課 題

- ・公開授業・講演会及び定例学習会を計画的に継続させ、充実を図る。
- ・実践にふれ、日々の授業設計・教授行為を見直す機会としての意義をさらに明確にし、積極的な参加を促していく。
- ・日常の指導の中で抱えている課題をつかみ、それに応じた研修会・学習会を行うことで主体的参加を促す。
- ・会場校および参加者に過度な負担をかけない円滑な運営を更に目指す。
- ・小中学校それぞれで授業づくりの研究を進めていく。
- ・体育学習の進め方や教材等を広く発信する方法を考えていく。



# 令和6年度 技術・家庭科教育研究会活動報告

## 1 本年度の活動について(内容など)

【自主研修の日（令和6年7月30日（火））】

技術、家庭科合同14名でCore 塩尻へ、研修に行った。塩尻振興公社商工観光部自動運転事業の百瀬さんと、荻上さんから「のるーと」の歴史とこれからの展望、Core 塩路の概要について説明を受けた。

のるーとは、世界的にも先駆けており、レベル4（無人自動運転）の実装を目指して、KADO と多くの企業と連携して行っている事業である。

Core 塩尻は、地域に開かれたコミュニティースペースとして、子どもからお年寄りまで、交流の場、eスポーツの場になるように1年前から開放されていると知った。

## 2 来年度に向けて(本年度の成果と課題)

### (1) 成果

今回の研修で学んだことを生徒に紹介することで、職業の幅が広がること・塩尻市が世界的にも最先端であること・塩尻市を誇り、郷土愛を育めることに繋がると感じた。

教員も最先端の技術を大変することで「ものづくり」を担う教科の大切を感じた。

### (2) 課題

- 今回の研修で学んだ事をどう授業に展開していくか今後検討していく。
- ワイン、のるーと以外の地域に根付いた産業を見つけ、展開していく。

## 研修研究の様子



# 令和6年度 英語教育研究会 活動報告

## (1) 本年度の活動について

○自主研修の日 令和6年7月30日(火)

全体研修 講演 「コミュニケーション活動を軸とした授業づくり」

講師 福井県福井市明倫中学校 教諭 高山大輔先生

会場 塩尻総合文化センター

意味のあるコミュニケーション活動の場としての授業づくりを目指す福井市の研究についてお聞きした。コミュニケーションの題材を生徒にとってより身近で必然性のあるものにすることや会話の続け方だけでなく聞き方や終わり方を意識することなどの視点を教えていただいた。

### 中学校区合同教科会

中学校区のグループに分かれ、小中のスムーズな接続という観点で、現場の様子や困っていること、お互いの要望などを情報交換し、今年度後半で実施可能な活動を考えた。

### 参加者(中学校18人+小学校12人)の感想

- ・特に印象に残ったことは、「意味のあるコミュニケーションにする」ということです。パターンプラクティスでも「相手との共通点」や「写真からわかること」などの条件を入れることで、主体的なコミュニケーションになることがわかったので、ぜひやってみようと思いました。
- ・小学校でも学年が上がるにつれて、英語力や個々の経験、知識に差が出てくるので、子どもがより安心して授業に取り組めるようにするには、教えていただいた授業の作り方や工夫が参考になると感じました。ワークショップ形式がありがたかったです。子どもたちの気持ちかわかるし、「あの子たちには～にしてみよう」と想像しながら研修を受けることができました。

## (2) 来年度に向けて(成果と課題)

### ○成果

現役の先生から、他県の研究を学ぶ機会を提供できたことはよかった。今年度は英語科の先生方の負担軽減のため、塩尻市英語教育推進委員会と共催で行った。来年度も継続していきたい。また、小中合同教科会は大変意義があった。お互いの教科書の内容を聞き、似たテーマをスパイラルに扱うことができるということを知れたり、授業参観や制作物の交流など、今後実現可能な活動について話し合ったりすることができた。

### ○課題

小中合同教科会の時間をもっと長く設定したいという要望があった。また、中学校に小学校の教科書を配備していただけるとありがたいと感じた。



# 令和6年度 道徳教育研究会活動報告書

## 1 本年度の活動

### (1) 総会（発足会）

- ①期日 5月24日(金) . . . 書面にて
- ②内容 年間計画・研修内容・予算・規約改正について . . . ※規約 令和6年5月24日一部改正

### (2) 自主研修の日

- ①日時 7月31日(水) 13:30~16:00
- ②内容

- 講演会  
講師：信州大学大学院教育学研究科特任教授 山浦 貞一 先生  
演題：「深海の真珠のように自分をつくる」
- 県道徳学会「東筑摩塩尻大会」公開授業の構想について  
筑北村立聖南中学校 中村 淳志 先生より概要説明 及び研究協議
- 公開授業への指導助言  
北信教育事務所学校教育課 指導主事 掛川由加子 先生



### (2) 長野県道徳教育学会「東筑摩塩尻研究大会」

- ①日時 11月 1日(金) 9:00~16:30
- ②内容

- 研究主題 「道徳性の芽を生かし、よりよく生きるための自覚を深める道徳教育の在り方」
- 支部研究テーマ 「道徳的価値に対する多様な見方・考え方に触れながら語り合い、よりよく生きるための自覚が深まる授業の創造」 ～「見方・考え方」の多様性が発揮される場の構成を中心に～
- 授業公開 「全校道徳」（縦割り9班編制）

主題名 : 「お互いの立場を尊重する」 教材名 : 「言葉の向こうに」 内容項目: 相互理解, 寛容	授業者 中村 淳志教諭 他8名	指導者 北信教育事務所学校教育課 指導主事 掛川 由加子 先生
--	-----------------------	---------------------------------------

- 分科会 4分科会による8つの実践レポート発表と協議
- 講演会  
講師：帝京大学教育学部初等教育学科教授 赤堀 博行 先生  
演題：「道徳教育マネジメント～指導観を明確にした道徳科の授業構想～」



## 2 来年度に向けて

### (1) 成果

- 総会：おそらく、ここ数年及び今後数年の本会の実際に適合した規約に改正できたと考えます。
- 自主研修の日：いずれの内容も「有意義であった」旨、参加者の皆様から感想をいただきました。
- 塩筑研究大会：多くの参加者の皆様から、特に公開授業の提案性の高さを評価していただきました。

### (2) 課題

- 総会：改正の是非に関わらず、年度はじめの規約の確認を大切にしたいと考えます。
- 自主研修の日：各研究会半数ずつ隔年実施にすると、多くの先生方が他の研究会にも参加し易くなり、研究会運営等について互いの参考や刺激にもなるのではないかと思います。
- 塩筑研究大会：『詳細』を参照願います。

### (3) 成果と課題の『詳細』

総会について(道徳教育研究会規約) 	自主研修の日について 	塩筑研究大会について 
--	---	---

# 令和6年度 特活(学級づくり)研究会活動報告

## 1 本年度の活動

### <夏の自主研修>

日 時…8月6日(火) 13:30~16:30

会 場…桔梗小学校

参加者…会員10名 非会員12名 計22名

### 構成的グループエンカウンター

～構成的グループエンカウンター等を活用した人間関係作りについて～

講 師…都留文科大学・跡見学園女子大学兼任講師 品田 笑子先生

### <研修内容>

学級作りのためにはルールとリレーションが大切であるということをお教えいただき、リレーションづくりに役立つ構成的グループエンカウターの様々なエクササイズ(アドジャン・2人のハートはピットリニコ?など)について、実践を混ぜて教えていただいた。

実際に様々な先生方とペアやグループでエクササイズを体験することを通して、一緒に活動する心地よさを感じることができた。学級で構成的グループエンカウンターを活用することの有効性を実感し、大変参考になった。



### <参加者の感想>

- ・構成的グループエンカウンターについて、基本からしっかり学び、実際にやってみることができてとても勉強になった。
- ・子ども達が「安心」して過ごせるための学級づくりにはグループエンカウンターが効果的であると改めて気づくことができた。
- ・自分のクラスの子たちだったら、～しようとか、～反応がかえってきそうだな～と思いながら、楽しく学ばせていただくことができた。

## 2 来年度に向けて

ここ何年か継続して構成的グループエンカウンターについて学んできたが、今後は先輩の先生方から学級作りの実践事例等のお話をお聞きすることも考えていきたい。

# 令和6年度 文化財研究会 活動報告

令和7年1月27日

## 1 本年度の活動

### (1) 東筑摩塩尻教育会 自主研修の日

7月25日(木)

「松本市立博物館を訪ねる」

### (2) 松本市教育会及び文化財研究会OBとの活動

8月6日(火)

「南栗遺跡の発掘現場を訪ねる」

10月27日(日)

「松本本郷地区の歴史を訪ねる」

神宮寺・御射神社・松本城主小笠原家廟所・枇杷の湯

## 2 来年度に向けて

### (1) 成果

- ・ 研修では、講師の先生方に資料の提供をいただくとともに見学地の歴史等について説明をしていただいた。身近な文化財について理解、関心を深めるよい機会になった。
- ・ 今年度も「松本市教育会及び文化財研究会OBとの活動」をおこなった。他地区会員との親睦を深めたり、他地区の文化財について研鑽を深めたりするよい機会になった。

### (2) 課題

- ・ 会員数が7名ととても少ない。多くの会員に入会していただけるように呼びかけていきたい。
- ・ 研修の場所、内容等を工夫し、より多くの方に参加していただけるようにしていきたい。
- ・ 来年度、今後の会員数によっては、休会等を考えていく必要がある。

# 令和6年度 学校園研究会 活動報告

(桔梗小 田中)

## 1 自主研修の日

### 実施内容

19名が参加し、塩尻市片丘にある長野県林業総合センターを訪ねました。林業総合センターには、広大な敷地の中に、研究施設があるだけでなく、自由に見学できる森林学習展示館、ビオトープ・散策路などがあります。

当日は、森林学習展示館において、林業総合センターの概要や長野県の豊かな森林資源について説明をお聞きし、貴重な展示資料を見学しました。その後、アカマツとスギの間伐材を使って、鉛筆立てづくりを行いました。



### 参加者の声

参加者からは、「自然豊かな塩筑で暮らしていることを実感できた」「子どもたちにも体験させたい内容だった」という感想をたくさんいただきました。地域の自然を知り、さらにそれを用いて作品を作る機会は、なかなかなく、大変有意義な研修となりました。

## 2 来年度に向けて

- ・例年、JA、学校給食コーディネーターさん、林業総合センターなど外部機関にご協力をいただけて、大変ありがたく、次年度以降も継続したい。
- ・年々参加者が増えて大変ありがたいが、駐車場確保や連絡が困難になってきている。夏の猛暑も課題。
- ・提出書類（実績報告・HP等）の簡素化をお願いしたい。  
充実した研修を継続して行っていくためにも、事務局の負担軽減や引き継ぎの確保をどのようにしていったらいいかが課題である。

## 令和6年度 保健教育研究会 活動報告

### 1. 本年度の活動

#### (1) 情報交換（保健教育委員会全体会終了後）

日 時 6月21日（金） 16:00～16:45

場 所 塩筑教育会館 講堂

内 容 発足会及び日常執務の情報交換

（定期健康診断について・保健室登校生への対応・ICTの活用について 等）

#### (2) 第1回研修会（自主研修の日）

日 時 7月30日（火） ① 9:20～11:45

② 13:30～15:30

場 所 ① 塩尻中学校・塩尻西小学校

② 塩尻教育センター 研修室

内 容 ① 保健室視察

② 講義・演習



「色育ってなあに？応用編～保健室で色を味方にして実践するために～」

講師：一般社団法人 日本色育推進会 色育ティーチャー

山本 深雪 様（M・Hハーモニー）

\* 情報交換会及び第1回研修会については、養護教諭育成支援リーダー  
受講者主催の研修会



#### (3) 第2回研修会（保健教育委員会・保健主事部会との合同研修会）

日 時 1月31日（金） 15:15～16:45

場 所 塩筑教育会館 講堂

内 容 「子どものメディア利用の実態と課題」

講 師 NPO法人 子どもとメディア信州 代表 松島 恒志 様

### 2. 来年度に向けて

#### (1) 成 果

- ・ 昨年度に続き、発足会時に日常執務の意見交換の時間を設けることができた。特に養護助教諭や経験年数が浅い先生方から、日頃感じていること・困っていること・聞いてもいいのだろうかと迷っていたことなど、ざっくばらんに話をしてもらうことができ、先輩の先生方からアドバイスいただけた。また、研修の内容を決める参考にもなった。

#### (2) 課 題

- ・ 養護教諭は各校1人がスタンダードな専門職でありながら、地域が広範囲で行政も違い、なかなか顔を合わせて話しをすることや研修を行うことが難しい。更に地区での研修や繋がりを大切に、誰もが参加しやすい充実した保健教育研究会となるように企画運営をしていく。

# 令和6年度 情報教育研究会 活動反省

令和7年1月11日

## 1 本年度の活動について

本年度は「自主研修の日」に研修会を開催した。塩尻市教育センターを会場に、Google Cloudを活用した授業作りや校務に役立つ講座を計画、実施した。

○ 「自主研修の日」研修会 7月27日（木）

研修テーマ 「Google Cloudを活用した対話的な学び」

講師 塩尻市教育委員会 情報教育担当指導主事 島津和浩先生 参加者 11名

今年度は、Google CloudやGoogleアプリを活用した学習指導や校務活用につながる効果的な使用方法の研修を行った。具体的には、GoogleスプレッドシートやGoogle Cloudを活用した対話的な学びを使った授業作りを実践事例から学んだり、Googleチャットの校務活用、Chat-GPT や CANVA の授業での活用方法について学んだりした。

## 2 来年度に向けて

### (1) 成果

- ・本年度研究会に入っていた先生方は12名だった。自主研修の日の研修会には研究会以外の先生方にもご参加いただき大変ありがたかった。研修会では、実際に授業で役立つ研修内容にご賛同いただいているので、今後も授業や校務などに活用できる内容を中心に研修内容を決めだしていきたい。
- ・会員を増やすために年度当初の募集に努めたい。そのために、継続的にご参加いただいている先生方や、発足の会にご出席いただいた先生方のご意見ご希望を生かし、研修会の内容を検討していくが、ICT活用やクラウド活用については、今後も継続的に研修内容として位置付けていきたい。

### (2) 課題

限られた時間での研修に、どのような内容を盛り込んでいけばより多くの先生方にご参加をいただけるのか、事務局でさらに検討していきたい。また、自主研修の日だけでなく、研修会などの活動を行う事により先生方の情報教育におけるスキルアップに協力していきたい。

(情報教育研究会事務局 麻績村立麻績小学校 小松 誠)



# 令和6年度 総合的な学習の時間・生活研究会活動報告

令和6年12月25日

## 1 本年度の活動について

### (1) 7月30日(火) 自主研修会「消しゴムはんこを作ろう(入門編)」

33名参加 (会員 21名 非会員 12名)

- 山下 奈巳先生に 講師をお願いして実施しました。
- 消しゴムはんこの作り方を、動画や、講師の先生が実際に作成するのを見せてもらい学びました。そのあと自分たちも練習して作品を仕上げました。
- 体験中は、黙々と活動に没頭先生方でした。「味があっていい。」「早く子どもたちのノートに押してみたい」「来年もこの研修をやりたい。」などたくさんの感想がありました。



## 2 来年度に向けて(本年度の成果と課題)

- 講師の先生の魅力ある内容のおかげで、参加者からは「意義のある楽しい研修だった」「予想を超えた素晴らしい研修だった。」という声がたくさんであった。来年度も会員のニーズに合った研修会を設定していきたい。
- 事務局の負担と、引き継ぐ人がいない現実がある。

## 1 本年度の活動について

### ○ 発足

日時 5月29日(水) 会員へメール配信

規約、年間活動計画、会員名簿の配信をもって総会とする。

異議申し立てなく、5月31日(金)研究会発足

文書にて、会長・事務局長・副事務局長の承認 会員数 41名

### ○ 自主研修

日時 令和6年7月30日(木) 13:30~15:30 自主研修の日

場所 塩尻市立塩尻西小学校 多目的室

(1) 研修内容 『卒業後のイメージを持ちながら、今学校の期間に大事にしたいこと』

講師 宮内 かつら先生(長野県発達障がい・情報支援センター 副センター長)

出席者 会員 28名 会員以外 7名 (計 35名)



宮内先生から、センターの概要や自立活動について教えていただきました。参加された先生方からは、「自立活動を大切にし、将来の力につながるものに取り組んでいきたい。」「授業での学びはその子に合ったものでよいとお話により肩の荷がストンと落ちた」

「授業のUD化モデルの話が心に残った。校内の先生にも伝えたい。」等の感想が多数寄せられました。

### ○ 専門書の選本、配布

9月 講演会講師の宮内先生ご推薦の書籍と、センター長本田秀夫先生の著書を事務局で選本

10月 配本『児童精神科医が語る あらためてきちんと知りたい発達障害』篠山大明

『知的障害と発達障害の子どもたち』本田秀夫

## 2 来年度に向けて

### (1) 成果

- ・自主研修では、講師の宮内先生から、自立活動の重要性や具体的な指導内容の設定にあたって、事例をもとにお話いただき、さっそく担当している児童生徒の個別指導計画等に役立てることができた。専門書は、それぞれの学校で校内の先生方にも紹介し、参考にして頂いた。

### (2) 課題

- ・通常級の先生方にも多く学んでいただけるよう、研修を企画していきたい。